

議会だより

# げいせい

2022

Vol.115

8月22日

8月臨時会

9月9日~15日

9月定例会

2-3

議会の新体制決まる

4-5

人事・工事請負

6

人事・条約の改正

7-10

令和3年度決算

11

令和4年度補正予算

12-19

8氏が一般質問

編集 高知県芸西村議会広報編集委員会  
発行 議長 岡村 俊彰  
印刷 例高知新聞総合印刷

「新嘗祭」献上米の収穫

# 新体制決まる!!



小松 康人副議長



岡村 俊彰議長

## 議長に岡村俊彰氏

## 副議長に小松康人氏

8月22日村議会議員選挙

後初の臨時会が開かれ、正副議長の選挙、各常任委員会委員、監査委員の選任などが行われた。

議長選挙では、岡村俊彰氏7票、無効票2票で岡村俊彰氏を議長に選出。副議長選挙では小松康人氏9票で小松康人氏を副議長に選出した。(※欠席者一人)

新しい常任委員会、議会運営委員会、村の財産区管理会の構成は以下のとおり。

## 就任のごあいさつ

日ごろより村民の皆さまには、村議会活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。この度、令和4年第2回臨時会におきまして選挙の結果、議長および副議長に選任されました。

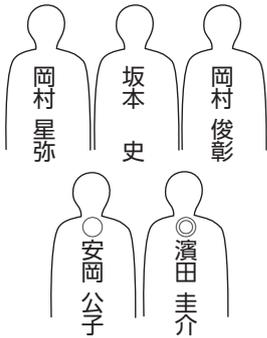
大変光栄でありますとともに、責務の大きさに身の引き締まる思いでもあります。現在、新型コロナウイルス第7波の収束が見通せない中、政府においては感染者数の全数把握の見直しが進められています。また、オミクロン株に対応したワクチン接種も、順次実施されることを期待しています。こうした劇的な社会情勢の変化の中、村民の生命財産と安心安全な暮らしが守られるよう、二元代表制の意味をしっかりと捉え、今後も芸西村の将来を見据え、時には共感し時には議論を交わし、方向性を見いだすべきであると考えています。

行政を監視評価する機関として、重要な役割を果たし、健全な議会運営に努めてまいります。村民の皆さまには、今後とも議会に対してのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 第2回 臨時会 (8月22日)

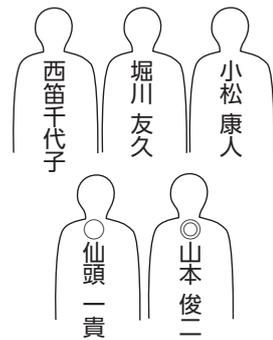
# 議会の

## 総務常任委員会



(◎委員長、○副委員長)

## 経済建設常任委員会



(◎委員長、○副委員長)

### 議会広報編集委員会

◎委員長 ○副委員長

岡村 俊彰  
小松 康人  
山本 俊二  
安岡 公子  
濱田 圭介  
西笛千代子  
仙頭 一貴  
坂本 史  
堀川 友久  
岡村 星弥

### 議会運営委員会

山本 俊二  
濱田 圭介  
坂本 史  
小松 康人  
西笛千代子

# 人事

## 監査委員に

池田 廣氏

(新任)

濱田 圭介氏

(新任)



池田 廣氏

監査委員に池田廣氏を選任したいとの提案があり、全員賛成で同意した。



濱田 圭介氏

監査委員に濱田圭介氏を選任したいとの提案があり、全員賛成で同意した。

### 略歴

昭和23年生、西分。任期は令和4年8月27日から4年間。

### 略歴

昭和34年生、和食。任期は令和4年8月22日から4年間。

## 財産区管理委員会

任期は令和4年8月27日から4年間。

### 和食

横田健一氏 小松公孫氏  
竹内強氏 高松道男氏  
宮崎義明氏 高松伸夫氏  
坂本任弘氏

【全員賛成で同意】

### 西分

岡村昌孝氏 佐藤泰史氏  
白石修三氏 都築博之氏  
籠谷英彰氏 公文基嗣氏  
都築英明氏

【全員賛成で同意】

### 馬ノ上

岡村光剛氏 竹崎孝夫氏  
山内澄夫氏 下司良介氏  
伊東尚彦氏 岡村憲一氏  
岡村真吾氏

【全員賛成で同意】

### 久重

大野志津子氏 山中啓郷氏  
坂本計三氏

【全員賛成で同意】

## 一般会計補正予算 (専決第2号)

1682万円を追加し、総額を57億402万円とするもの。

主なものは、住民税非課税世帯などに対する臨時特別給付金1100万円、低所得の子育て世帯生活支援特別給付金350万円など。

【全員賛成で承認】

## 一般会計補正予算 (専決第3号)

1787万円を追加し、57億2189万円とするもの。

災害対応工事費1600万円、排水機場調査委託費187万円。

## 質疑

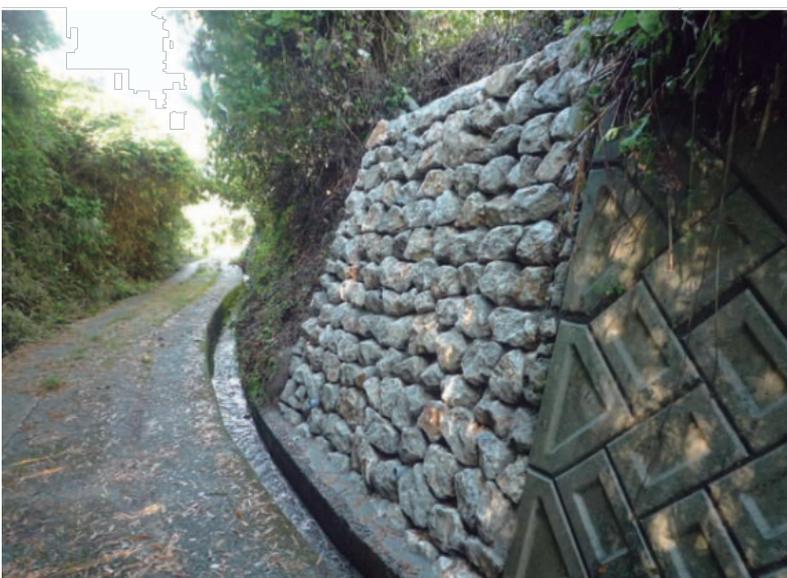
問 岡村(星)議員

災害対応工事について、内容と詳細を問う。

答 山本土木環境課長

7月5日の大雨で発生した芸西中学校から極楽団地へと通じる村道赤野線の土砂崩れの復旧や、村内各地で発生した水路や道路の復旧に要するもの。

【全員賛成で承認】



災害対応工事 (馬ノ上清水)

## 工事請負

地域農業水利施設ス  
トックマネジメント事  
業千原排水機場 No.1  
主ポンプ分解整備工事

契約の方法

随意契約

契約金額

5610万円

(内消費税510万円)

完成期限

令和5年2月28日

契約の相手方

石垣メンテナンス株  
式会社四国支店

## 質疑

問 仙頭議員

有事にはポンプが機能し、災害を少しでも減らすために計画的なメンテナンスが必要だと思ふ。この工事契約は計画の一部分なのかを聞く。

答 山本土木環境課長

この事業は、建設から30年を超える和食排水機場のポンプ設備の整備を令和2年度から令和5年度にかけて、国や県から補助金を受けて行うものだ。令和5年度は、和食排水機場のNo.2主ポンプの分解整備工事を予定している。

【全員賛成で可決】



和食排水機場

## 議会の動き

### 7月

- 12～14日 令和3年度決算審査(事前審査) 【監査委員】
- 21日(木) 安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム臨時議会 【議長】
- 22日(金) 例月出納検査 【監査委員】
- 25日(月) 安芸広域市町村圏事務組合定例議会 【議長】  
ごめん・なはり線活性化協議会総会
- 26・27日 令和3年度決算審査 【監査委員】

### 8月

- 15日(月) 戦没者追悼式 【議長】
- 19日(金) 例月出納検査 【監査委員】
- 22日(月) 令和4年第2回芸西村議会「臨時会」
- 24日(水) 町村議会議長研修会及び県政に対する意見交換会 【議長】

### 9月

- 2日(金) 令和4年第3回芸西村議会「定例会」議会運営委員会
- 9日(金) 令和4年第3回芸西村議会「定例会」開会
- 14日(水) 令和4年第3回芸西村議会「定例会」一般質問
- 15日(木) 令和4年第3回芸西村議会「定例会」審議・採決 閉会  
議会だより115号第1回広報編集委員会
- 21～22日 令和4年度町村議会広報研修会
- 27日(火) 例月出納検査 【監査委員】  
経済建設常任委員会(県営和食ダム視察研修)
- 28日(水) 新嘗祭(抜穂式) 【議長・経済建設常任委員長】  
議会だより115号第2回広報編集委員会

※ 9月29～30日開催の四国四県町村長議長会は、開催方法変更となっております。【欠席】

令和4年

# 9月定例会

## 教育委員・固定資産評価審査委員 を任命・選任

令和4年9月定例会は、9月9日から15日までの会期で開かれ、令和3年度決算認定、令和4年度補正予算など村長提出18議案を審議・採決した。また、一般質問には8氏が登壇し、村政全般についてたまたした。その概要は以下のとおり。

### 人事

教育委員に

吉永 ゆかり氏  
(新任)



吉永 ゆかり氏

教育委員に吉永ゆかり氏を任命したいとの提案があり、全員賛成で同意した。

略歴  
昭和51年生、馬ノ上。任期は令和4年10月1日から4年間。

固定資産評価審査委員に

竹崎 孝夫氏  
(再任)



竹崎 孝夫氏

固定資産評価審査委員に竹崎孝夫氏を選任したいとの提案があり、全員賛成で同意した。

略歴  
昭和29年生、馬ノ上。任期は令和4年11月1日から3年間。

### 条例

育児休業等に関する条例の改正

法の改正に伴い育児休業など取得しやすい環境を整備するための改正を行うもの。  
【全員賛成で可決】

地域改善拠点園芸農家育成施設設置条例を廃止する条例

利用料の完納に伴い、村が所有する園芸ハウスがなくなるため条例を廃止するもの。  
【全員賛成で可決】

一般会計

令和3年度  
決算

歳出 58億764万円

(前年比1.29%増)



北芝団地

ふるさと納税返礼品費  
公営住宅建設工事費

6億5,155万円  
3億3,089万円

新型コロナウイルス感染症対策

8月に発行した生活支援地域振興券は、99%が利用した。  
非課税世帯や家計が急変した世帯を対象に、臨時特別給付金10万円を486世帯に給付した。  
飲食店応援事業は、1月20日に県のコロナウイルス感染症対応ステーションが、特別警戒となり、事業を休止したが6万5124人が利用した。

消防

火災で3件の出動があった。  
救急業務委託では、

2年度より25件少ない232件の出動があり、急病132件、転医46件、負傷28件、交通事故など26件となっている。

防災

地震対策として、土砂災害(特別)警戒区域が指定されたため、防災マップの更新をした。

自主防災組織

また、個別受信機設置事業では、高齢者2世帯に設置した。

県の資機材再整備補助金事業を活用し、土居、郷中・東地区で資機材を整備した。

また、災害用トイレ、非常用食料品(アルファ米、パン、災害用ビスケット、水)、毛布、備蓄用缶詰、排便処理セット、非常用生理用品を購入した。

## 租税債権管理機構

村税の3年度の徴収率は98%を超えている。滞納繰り越しの徴収率も57%となっており、2年度の1260万円から3年度決算では、1011万円と縮小傾向にある。

## ふるさと納税

寄附額は2年度より約1643万円増加し、20億93万円で、県内1位、全国82位、村では全国1位になっている。返礼品提供事業者間の連携を図ることで、魅力あるコラボレーション商品が増加したことが、寄附額増加の要因と考える。

## かつぱ市

3年度の売り上げは1億5376万円で、前年度比110%となっている。

琴ヶ浜でバーベキューを楽しむ、自然体験満足度向上事業は、10

月にウェブサイトで受け付けを開始し、7組24人の利用があった。

## 集落活動センター

シキビやサトウキビの収穫・販売、竹林整備、白玉糖を使った加工品の販売により、3



白玉糖ミルクバター

## 健康・福祉

年度は741万円余りの収入を得た。衛生管理の基準である、HACCP第2ステージの認証を取得したことで、信頼される商品の提供が可能になり、主力商品である、白玉糖ミルクバターの販路拡大につながった。

ふれあいセンター・

ほっとハウスは、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら施設運営を行い、健康維持や介護予防事業を行った。6カ所で延べ1万2535人の利用があった。

がん検診、集団健診は感染症予防対策として、事前予約制を導入するように取り組んだ。

また、健診結果説明会には127人が参加した。

3月には、子育て世代包括支援センター「COCOORO（こころ）」を開所し、母子手帳交付時の面談など、子育てについて安心して相談できる環境整備を行った。

新型コロナウイルス

感染症対応地方創生臨時交付金事業では、新生児特別支給給付金を12人、妊婦特別支給給付金を19人に、それぞれ10万円を給付した。また、ふれあいセンターなどに、感染予防のパーティーションを購入した。

## 産業振興

地籍調査事業は、平野部和食地区の一部42筆0・44平方キロメー

トル、山間部久重地区の一部270筆1・26平方キロメートルの一筆地調査および測量を行った。久重地区の現地測量調査は3年度をもって完了した。

移住促進は、「高知暮らしフェア」にオンラインと対面による参加をした。

移住促進住宅の6棟は全て入居しており、お試し住宅も予約する人がいて途切れることなく利用されている。

園芸用ハウス整備事業のレンタルハウス整備で規模拡大1件、高度化1件、高度化と規模拡大の併用2件の合計4件の支援を行った。

県営ため池等整備事業により、耐震工事を行っていた丸塚池は完成した。

商業では、小規模事業者経営改善資金の利

子補給を行い、商工業者の経営支援を行った。村営住宅更新事業で、建て替えをしていた北芝団地は完成し、入居者の引越しも完了した。

## 土木環境

道路事業では、サンシャイン新店舗進入路向かいの側溝への蓋掛け工事、村道シルデ線の道路の拡幅工事、琴ヶ浜旧道の村道琴ノ浜線の側溝改修工事、村道吉野線の法面工事を行った。

農業土木では、和食地区農業用水路長寿命化計画を策定した。

治水対策として和食排水機場では、2年度から4年計画で長寿命化を進めており、3年度は完成から30年が経



宮ノ東線に設置されたカルバート

過するNo.1とNo.2のポンプに関連する電気設備の更新を行った。高規格道路事業では、叶木から憩ヶ丘運動公園に向かう村道宮ノ東線の国道北側で、自動車道本線の横断ボックスの建設が行われた。

和食ダム事業では、左岸の再掘削が継続して行われ、瓜生谷地区の西地橋の架け替え工事は5月に完成した。猫の不妊・去勢手術費用の助成は、39件の補助を行った。

## 教育

学校教育では、小中学校に整備したタブレットで使用する学習アプリを10月から導入し、授業でのタブレット活用を進めた。

社会教育では、シニアスマホ教室や夏休み子ども教室、生涯学習振興週間、成人式を行った。

美術館では、筒井氏の絵画7点の修復を行った。また、10の企画展などを開催し、資料館・美術館に年間3032人が訪れた。

伝承館では、衛生環境の向上やコロナウイルス感染防止のために、換気機能のついたエアコンを設置した。

憩ヶ丘運動公園では、陸上競技場西側トイレ

を洋式トイレに改修した。

## 質疑

### 問 仙頭議員

安芸消防救急委託の内容や方針を安芸市と話し合うべき時期ではないか。

### 問 仙頭議員

本村に支所をつくることも検討してもらいたい。本村も消防団員の数は年々減っている。1分団30人という定員に達していない分団もある。今から準備しておかないと遅いのではないか。

### 答 松本総務課長

安芸市との委託料の算定方法は、前々年度の安芸市の常備消防費、消防施設費及び消防職員員の費用から補助金などの収入を差し引いた額に、国勢調査の安芸市と芸西村の人口比率を基にした率を掛けて算定をしている。双方が納得できる形で協議をしていきたい。

### 答 溝渕村長

今後の安芸市との議論の中には、そうした視点も含めて総合的に議論をしていきたい。  
【全員賛成で認定】

## 住宅資金 貸付会計

歳入1464万円、  
歳出1423万円。

3年度の収入額は71万円となり前年度と比較して160万円増加し、1人の償還が完了した。

高知県住宅新築資金等貸付助成事業の補助決定を受け、1人を不納欠損処分し滞納整理を行った。

償還途中の人も計画的な償還が進んでいる。今後にも必要に応じて安芸租税債権管理機構と連携し債権回収の強化に努める。

### 【全員賛成で認定】

## 国保会計

歳入7億7921万円、歳出7億7045万円。

国保事業における平均世帯数は77世帯、平均被保険者は1351人。前年度比、6世帯の減少、被保険者は31人の減少。

保険給付費は4億9003万円、前年度比0・9%の増加。受診率は前年度より減少したが、1人当たりの医療費は増加。

歳入では、所得の減少により、国税収入は1億7129万円で、前年度比1・4%の減少。

特定健診の受診率は新型コロナウイルス感染症の影響により37・5%、前年度比2%の増加。

医療費の抑制には、

疾病を早期発見、治療や日頃の生活習慣が大切であり、特定健診の受診促進、受診率向上に取り組む。

### 【全員賛成で認定】

## 介護保険会計

歳入5億8687万円、歳出5億7169万円。

3年度末村人口は3632人、高齢者は1369人、高齢化率は37・7%と高い水準である。

1号被保険者は、前年度比17人減少の1326人、認定者は3人増加の258人、サービス受給者は3人減少の198人であった。  
介護給付費の歳出決算額は5億3295万円、前年度比3354

万円の増額となった。

給付費増加率の高いサービスは、居宅サービス費の1億6791万円、前年度比6・1%の増加。施設サービス費の2億5212万円の増加、共に増加傾向である。

介護予防、重度化予防として、各ふれあいセンターでの運動や栄養、口腔機能向上の介護予防教室、村民会館での認知症講演会と介護教室を開催した。

【全員賛成で認定】

## 後期高齢者 医療会計

歳入6822万円、  
歳出6633万円。

被保険者数は782人となり、前年度比31人の増加。

保険者である「高知

県後期高齢者医療広域連合」への負担金は、128万円増の6589万円となった。

### 【全員賛成で認定】

## 簡易水道会計

歳入1億4919万円、歳出1億4557万円。

西分一向地区の老朽管の布設替え工事を実施した。

降雨量が少なく、水道水の安定供給が危ぶまれる状況となったが、水利組合や村民の協力により給水制限には至らなかった。

【全員賛成で認定】

## 下水道会計

歳入2億377万円、歳出2億318万円。

会計事務では、令和6年度からの公営企業会計導入に向けて固定資産の調査や評価を行った。

下水道への接続は、一般住宅21戸と集合住宅2棟14戸で、年度末の下水道加入率は77・2%となった。

### 【全員賛成で認定】

会計事務では、令和

6年度からの公営企業会計導入に向けて固定資産の調査や評価を行った。

### 【全員賛成で認定】

一般会計  
(第2号)

補正額6,356万円の増額

令和4年度

補正  
予算

総額57億8,546万円

主なもの

区 分	金 額
コロナワクチン予防接種委託料	670万円
防犯灯修繕費	160万円
県支出金精算返納金	214万円
地元施行補助金	240万円
システム改修委託料	193万円
コロナワクチン予約受付事務委託料	400万円
国庫支出金精算返納金	429万円

【全員賛成で可決】

2317万円を追加し、総額を5億8724万円とするもの。  
主なものは、国庫支出金精算返納金189

介護保険会計  
(第1号)

987万円を追加し総額8億3471万円とするもの。  
主なものは、新型コロナウイルスによる傷病手当金93万円など。  
【全員賛成で可決】

国保会計  
(第1号)

189万円を追加し、総額を7556万円とするもの。  
後期高齢者保険料負担金189万円。  
【全員賛成で可決】

後期高齢者医療会計  
(第1号)

5万円など。  
【全員賛成で可決】

158万円を追加し、総額を2億3198万円とするもの。  
修繕料158万円。  
【全員賛成で可決】

下水道会計  
(第1号)

770万円を追加し、総額を2億2080万円とするもの。  
主なものは、配水管布設の設計費用482万円など。  
【全員賛成で可決】

簡易水道会計  
(第1号)

コロナワクチン予防接種委託料  
国庫支出金精算返納金

670万円  
429万円

9月定例会では8氏が登壇し、村政全般について質問しました。

●山本 俊二…………… p12~13

村の産業に早急な支援を

●岡村 星弥…………… p13~14

- ・街灯を増設すべきでは
- ・商工業の発展を

●安岡 公子…………… p14~15

コロナ感染者へ村独自の支援を

●濱田 圭介…………… p15

外国人への日本語教室を  
(その他) 農業の労働力確保対策は

●仙頭 一貴…………… p16

コロナ対策には順番が必要  
(その他) ・排水ポンプ場について

- ・入札について
- ・報告について

●西笛 千代子…………… p16~17

子育て世代包括支援センターについて

●坂本 史…………… p17~18

統一化に向けた1人当たり医療費の推移は

●堀川 友久…………… p18~19

ポンプ場の運用方法について

## 村の産業に早急な支援を

国や県の支援策を活用 **村長**



山本 俊二議員

問 山本議員

コロナ第7波そしてロシアのウクライナ侵攻・円安などにより、農業をはじめ全ての業種で深刻な所得の減少の長期化がある。

特に農業では販売額の下落、肥料など生産資材のパンニック的高騰で危険な状態だ。

農家は生産資材の値上がり分を販売価格に転嫁できない。

村の農業は維持できるか、早急な支援対策はないか。

また、SDGsの目標や農業基本法の基本理念が絵に描いた餅とならないよう国に向けて声を上げるべきだ。

**答** 吉永産業振興課長

施設園芸が基幹産業である本村は高騰する肥料に対する支援の必要性は感じている。

本村では、JAが主催する消費拡大連絡協議会に協力し農産物の消費推進活動、産地の宣伝活動支援、収穫体験事業などの販売促進活動も支援している。

**答** 溝渕村長

農業に限らず経営がひっ迫している事業者の声がある。

これは、一自治体で立ち向かうことは到底不可能である。

国からは自治体に対して交付金や給付金が支出された。

本村でも、事業継続のための持続化給付金やコロナ感染防止対策

費用の助成など支援を行っている。

また、物価高騰対策では、地域振興券の発行などを対策として位置づけている。

肥料や生産資材の高騰は、国や県が打ち出す支援策などを積極的に活用し産地の維持につなげたい。

## 街灯を増設すべきでは

### 優先順位を決めて整備 村長



岡村 星弥議員

**問** 岡村（星）議員

近年、健康志向が高まり、夕方以降多くの村民が歩いており、夜遅く仕事や学校から帰宅する村民もいる。

夜間の犯罪や事故を未然に防止し、安全安心な村づくりのためにも街灯を増設すべきではないか。

今後の街灯設置予定や場所、台数の計画、また街灯設置に伴い周辺環境への配慮も必要である。

具体的対策をどう講じていく考えであるかを問う。

**答** 松本総務課長

村道に約350基の街灯が設置され、ほぼLED照明となっている。周辺環境への配慮として、ビニールハウス

の近くでは灯りに集まる害虫による農作物への被害や近隣住民への影響から街灯の設置ができない場合もある。

要望箇所の中で周囲の同意が得られた箇所については新設で行っている。

**答** 溝渕村長

生活に身近な問題であり、多くの人からご要望がある。

設置箇所の選定は、各地区やPTA連絡協議会、近隣住民からの要望を聞き、現場の状況や周辺環境への影響を確認した上で、設置箇所を検討し、年間一定数の整備を進めている。

特に子どもが通学で利用する道や、危険性が高い場所は優先的に整備することが必要だと考える。

## 商工業の発展を

### 効果的な支援策を検討 村長

**問** 岡村（星）議員

既存商工業の発展や新たな商工業を誕生させるため、基本的な支援、具体的施策をどう考えているか問う。

**答** 吉永産業振興課長

令和3年度は、村内事業者を対象に時短要請対応臨時給付金などを交付し、事業者への継続支援を実施している。

本年度は、令和2年度にも実施した観光活性化支援事業を9月1日より開始している。

対象は宿泊利用者、ゴルフ利用者で1000円の割引を適用する支援事業である。

**答** 池田企画振興課長

村内に事業所などを設置し、起業や既存事業拡大に取り組み村内事業者に対して、「ふるさと納税型クラウドファンディング」で補助金を確保し、交付する支援を行う。

現在、提案事業の採

択中で、10月には寄附の受け付けを開始予定である。

本年度も5万人限定で割引を行う飲食店応援事業を実施している。

アマチュアスポーツ団体に対し、村内の宿泊施設の利用率1泊1人当たり1000円、

村内の一般貸旅客自動車運送事業者の貸切バスを借り上げる場合は

1日当たり2万円、限度額10万円を助成する

スポーツ合宿支援事業も開始している。

も開始している。

**答** 溝淵村長

県東部10市町村の就業人口で産業構造を比較すると、本村は一次産業1位、二次産業では10位の最下位、三次産業は9位である。

村の経済圏や生活圏は多種多様な業種で形

成されており、商工業の発展も必要不可欠である。ウィズコロナの

時代の中で、将来的にわたって持続可能な社会にするため、農業振

興に加えて産業や他分野の維持発展に向けて

協議し、効果的な支援策を検討していく。

個人での起業や経営規模を拡大しやすい環境整備をするために、

本年度より村独自の新たな補助金事業も開始している。



# コロナ感染者へ村独自の支援を

## 情報提供は積極的に 村長



安岡 公子議員

**問** 安岡議員

コロナ対応は県の管轄だが、スマホやネット環境がなくて情報にたどり着けず不安を抱えている村民がいる。

村独自の相談窓口の開設、発熱外来の周知など村民の不安に対応する体制づくりはできないか。

**答** 都築健康福祉課長

感染者には、県または保健所が主体となり対応している。村の広報を充実させるなど、分かりやすくお知らせできれば不安の解消につながるのではないかと考えている。

**問** 安岡議員

今後、医療や保健所が緊迫してきたとき、抗原検査キットと解熱剤の確保、食料・日用品・消毒液・体温計の配布、パルスオキシメーターの貸し出し、外国人労働者への情報提供。

また、安芸福祉保健所管内への宿泊療養施設開設への働きかけなど、村独自で何かできないか。

**答** 都築健康福祉課長

県と重複しないよう調整を取りながら、支援体制を整えていけたらと考えている。

**答** 溝渕村長

予防に関する啓発や周知、ワクチン接種に

関する体制の整備、医療機関との調整など、必要な情報提供は積極的に行っていききたい。

安芸管内への宿泊療養施設の開設は、施設やスタッフの関係で、なかなか困難であるとのことだった。

**問** 安岡議員

村民と役場はしっかりとつながり、保健所の手の届かないところを埋め、村民に安心を与える村政であってほしい。

**答** 溝渕村長

県ができていない部分で、村としてプラスして何かができるのではないかという部分に光を当てていきたい。

## 外国人への日本語教室を

### 実施に向け検討 村長



濱田 圭介議員

**問** 濱田議員

村内に居住する技能実習生などの外国人が、地域の情報や住民とのコミュニケーションを図り、楽しく充実した生活を送るためには、日本語の習得や日本語のスキルアップは大変重要なものと考えている。

高知県国際交流協会が無料でやっている「日本語で日本語を教える日本語ボランティア」の研修により、村民に日本語ボランティアになってもらい、村が教える場所を提供す

ることで、原則無料の日本語教室開催が可能と考えるが、村の考えを聞く。

**答** 吉永産業振興課長

コミュニケーションをとるためには語学力は重要であり、日常会話ができればお互いの理解も早く、信頼関係を築くことも容易になると考える。

雇用主の考えや地域の意見、外国人のニーズや日本語ボランティアへの協力など、実態の把握に努めていく。

**答** 溝渕村長

提案のあった日本語教室の取り組みは非常に意義がある。

日本語や地域のことを知ってもらうことで、外国の文化や風習、そして人となりを知ることができ、お互いの不安を払しょくすることにもつながると考えている。

各種調査などによる村内の実態を見極めた上で、実施に向け検討したい。

# コロナ対策には順番が必要

柔軟に対応している 総務課長



仙頭 一貴議員

問 仙頭議員

役場庁内でのコロナウイルス感染が、クラスタもしくはそれに相当する濃厚接触者が出た場合に公務が支障なく行える体制や計画はあるのか。無いのであればつくるべきだ。

本村が行うコロナウイルス感染症対策は、村内業者優先で行うべきではないか。

村内業者が落札した場合は村内業者にも仕事、村には落札業者から税金が入ってくる。一つの事業で、たくさんの事業効果がある。物品の購入や工事は村内業者優先で行うべきではないか。

答 松本総務課長

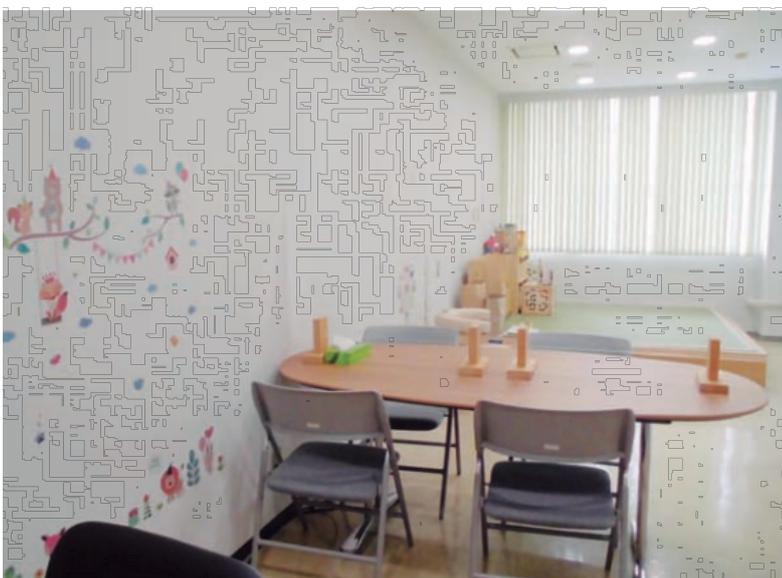
コロナ感染症に限定した業務体制に関する

計画などについては定めていない。仮に、役場内で感染者が増加した場合には、感染状況に応じて業務体制を整える必要がある。「芸西村業務継続計画災害時対応マニュアル」、あるいは、「新型コロナウイルス等対応業務継続ガイドライン」などを参考に検討したい。また、リモートワーク用のパソコンを使って、在宅で仕事ができるように機器の整備はできている。決裁や伝票処理などの事務処理の遅延を防ぐため、電子決裁システムの導入についても検討を行っている。コロナウイルス感染症対策は、さまざまな事業や物品の購入などを行っているので、発注にあたっては、取り扱いのある村内事業者

の数や業務内容、あるいは緊急性のある場合は完成期限なども考慮した上で、適正な競争性を持った発注手続きを行う必要がある。その条件を満たす内容であれば、村内事業者が入札に参加できるように検討している。

## 子育て世代包括支援センターについて

教育委員会と連携し支援 村長



子育て世代包括支援センター CoCoRo



西笛千代子議員

問 西笛議員

当センターが開所してから半年間過ぎたが、これまでの利用状況について問う。今までにどのような相談があったか。また、本村における未就園児の現状も問う。

**答** 都築健康福祉課長

内容や件数については、個人が特定される恐れがあるので差し控える。

母子手帳交付の際に必ず保健師が面談を行い、産後も訪問や来所で育児相談を受け付けている。

センターの利用割合では、乳幼児が多いが、就学後の相談も高校生世代まで受け付けている。児童本人からの相談機関でもあることを、もっと周知したい。未就園児については、3歳児以上では未就園児はいない。

**問** 西笛議員

来年度、4月には政府のこども家庭庁が設置されるが、現在の課題や改善したい事柄を問う。

また、県内の思春期心療内科外来の初診は困難な状況がある。村長には、県と連携して改善の働きかけを求め

**答** 都築健康福祉課長

こども家庭庁の設置に伴う村の課題や問題点は、まだ国から詳細が示されていない部分があり、現時点では明確に答えられない。本村でも、新規事業も検討しているが、県内の状況など情報収集しながら進めていく。

**答** 溝渕村長

思春期外来の医師の配置などについて難しいハードルがあるが、県の担当部局、知事にさまざまな機会を通じて、現状を訴えていく。

本村では、医療・福祉・教育関係機関との連携強化に取り組んでいる。引き続き教育委員会とも連携しながら支援を続けていく。

## 統一化に向けた1人当たり医療費の推移は

10年前と同水準 村長



坂本 史議員

**問** 坂本議員

国保の統一保険料の試算をみると、ほとんどの保険者で保険料が上がっているのはどのような経緯かを問う。

また、医療費は医療水準の高度化や国保加入者の減少傾向により、1人当たりの医療費が

高くなる傾向にある。本村の1人当たりの医療費の推移について聞く。

**答** 都築健康福祉課長

令和2年度の本村1人当たり保険料は県内でも高い水準となっている。



健診結果説明会の様子

本村の特徴として被保険者の所得水準が県内でも特に高く、医療費水準も下がってきているとはいえ数年前までは10番以内に入っていた。

保険料水準の統一化は、医療費水準を除いて計算され、一般会計からの法定外繰入もなくなるため、ほとんどの市町村において保険料が引き上げられる。本村の直近10年間の1人当たりの医療費は、県内の平均が年々増加傾向にあるなか平成28年度をピークに、その後減少傾向に転じ10年前とほぼ同水準の医療費となっている。脳血管疾患や心臓病の減少、慢性腎臓病や糖尿病予防の保健指導、健診結果説明会など関係機関と連携して実施している。

引き続き健康意識の啓発、疾病予防対策を行っていきたいと考える。

**答** 溝渕村長

令和12年度の保険料水準の統一に向けて国保会計の赤字を解消することと同時に、一般会計からの法定外繰入を解消することが議論の前提となっている。

引き続き国保財政の赤字削減・解消計画に基づき国保運営の適正化に努める。

まずは医療費の抑制策などできる対策を取りながら少しでも赤字額を小さくしていくことが当面の課題と考える。



堀川 友久議員

## ポンプ場の運用方法について

専門家と連携し協議を進める **村長**

**問** 堀川議員

7月5日の大雨で周辺のハウスが浸水した。和食排水機場第3号機の故障が原因の一つであると聞いたが、原因を聞く。

また、第3号機の試運転は水位が足りないとできないと聞いているが、行政と業者との間で話し合いを望む。今後、ポンプの故障で被害があった場合、責任の詳細を問う。

**答** 山本土木環境課長

No.3ポンプが電圧が下がる現象で運転ができなかった。業者などによる現地調査を行った。

電気数値に異常はないが、運転できない状態を確認し、7月28日にはポンプの試運転を

確認している。

今後不具合が生じた場合には、関連業者などと連携し、適切なポンプ運転ができるよう努める。

試運転には、一定まで水位を上げる必要があるため、業者と協議する。

ポンプでの災害があった場合の責任については、業者がポンプ運転を保証するようになっていない。

法的な手続きで村に過失が認められれば、村の過失の範囲において責任を負うことになる。



和食排水機場

**問** 堀川議員

早期に吸水口を可動式にするなど、試運転ができるよう対策をして、全てのポンプ場に適切な維持管理を行うよう求める。

**答** 溝渕村長

今後も業者、安芸土木事務所や安芸農業振興センターなどと連携を取りながら、施設の適切な管理に努める。

**研 修**

**町村議会広報研修会**

令和4年9月21日に東京永田町シエンバツハ・サポーで町村議



町村議会広報研修会

会広報研修会が開かれ、岡村（星）、西笛の2議員が出席しました。「そろそろ化けませんか!!」と絶滅危惧から持続可能な議会広報へ」と題する講演や広報作成の実践的な話がありました。

**常任委員会  
活動報告**

**経済建設常任委員会**

**和食ダム視察  
(9月27日)**



和食ダム

和食ダムは、洪水や水不足に対処するため治水・利水・環境を目的に平成5年に計画が立案され、平成15年から建設事業が行われています。現地の視察もさせていただきました。

**議会の傍聴に  
おいでください。**

新型コロナウイルス感染症対策をしておりますが、傍聴の際はマスク着用など感染防止対策にご協力をお願いします。

また、議場の音声を庁内放送しております。庁舎3階へお越しになれない方も、庁舎1階・村民会館1階でもお聴きいただけます。

次の定例会は  
**12月**の予定です。

**編集委員**

- 委員長 岡村 星弥
- 副委員長 堀川 友久
- 委員 坂本 史
- 仙頭 一貴
- 西笛 千代子
- 濱田 圭介
- 安岡 公二
- 山本 康人
- 小松 俊彰
- 岡村 俊彰

詳しく知りたい方は、  
村のホームページでも会議録が閲覧できます。

議会事務局

(TEL) 33-2137

## 小・中学校の 運動会・体育大会



9/21  
中学校



9/23  
小学校



## 稲刈り

9/28  
中学校

保育所の子ども  
たちが見守る中、  
幼小中が食育の  
一環で稲刈り  
を行いました。

